



澤俊行会長

ねじメーカ、商社コ
ーザ、機械・材料等分
野、学識・研究者、関係
団体等が参加。ねじが教
えてくれる「標準化」の
起源から現在までを講
演テーマに掲げて、標準
化の歴史から重要性など

開催趣旨を説明。つづい
て、講師の原田節雄氏
(元桜美林大学客員教
授)のプロフィールが発
表されてから、講義へと
入った。
原田氏は「ISOにお
いてTC1・TC2の登
記は、ねじの重要性を物
語っているものであり、
解説させて頂き内容が少
しでも皆様の業務に役立
つことを願います」と前
置きし、欧州起源のねじ

標準化

の原理原則等
へと深く掘り
下げておこな
い、最後に
「原理原則を
常に考え、標
準化に取り組
むことが重要
であるほか、
関連作業等が
進まない場合にも無理に
動かすに時間を充分に費
やすのも一つである」と
締め括った。

将来見据えた多

アジアプランニング 稲見智和新

稲見社長は、前職の旅
行会社勤務時に近藤現会
長と知人関係となり、海
外事情にも明るい点やそ
の人柄が見込まれてアジ
アプランニングに200
2年入社。以後、業務に
必要となる知識・経験を
着実に積み重ねつつ、国
内外の業界関連企業への
営業訪問を積極的におこ
なって新規取引先も開
拓。また企業競争力強化
のため特注品対応の開始
・拡大にも貢献するな
ど、業績拡大を果たして
きた。現在の自身がある
のは優しく御指導下さっ
た業界の方々のおかげで
あり、常に感謝の気持ち
を持っている。

た。その中で「BtoC
向けのオリジナルブラン
ド(アイテム)づくり」
の回答が多く、実現に向
けてプロジェクトを立ち
上げて現在推進中。業界
外の人々に関わる機会の
1つとなることで、社員
の家族にも自身の仕事内
容をわかりやすく紹介で
きるようにという想いか
らスタートした。オリジ
ナルブランド確立を通じ
て国内企業への利益創出
に貢献したいとの想いの
ほか、社内コミュニケーション
の強化、入社希望者へ魅
力を感じてもらえるきつ
かけにも繋がればとの意
図もある。

アイボルトのJIS改正に向けて

静香産業 山本泰史社長

より安心使用に努める

静香産業(本社)大
阪市港区田中2-9-1
25)代表取締役の山本泰
史氏は、一般社団法人日
本産業機械工業会からの
要請を受け、日本産業規
格JIS B1168-
1994アイボ
ルトの改正に向
けて動き出す。

且つより安心使用ができ
る内容へと編纂し、数年
先の規格改正に向けて準
備を進めていく。
JIS B1168A
イボルトは、1957年
に規格制定され、過去数
回にわたって、過去数
回の改正を経ている。特
に1975年の改正時に
は、安全面を考慮しての
内容が大幅に追加され、
当時の専門委員会には山
本社長が祖父であり静香
父(山本準之祐氏)も協

理解、工業
標準から産
業標準へそ
の概念の違
い、ISO
9000シ
リーズ標準
はなぜでき
たか等と、
自らが纏め
た配布資料の項目に沿っ
た順番で標準化に関わる
多角的な要素と共に、
ねじを織り交ぜた事例の
締め括った。

業創業者の山本周蔵氏
も参加。今回、一番直近
(1994年)の規格改
正からみても約30年が経
過し、現行との整合性を
図るため、改正に向けて
動き出す事となった。
数年先になるとは思いま
す。当社
の社員に
とって
多くを学
べる貴重
な機会
もあり、
これを機
にユーザ
様がより安心して使用
できる規格内容になるよ
う努めたい。日本産業に
少しでも貢献できるよう
「一杯に励みます」と述
べている。

ファスニングジャーナル

ベッセル 新シリーズを発売

ベッセル セーバーソーブレード発売

(株)ベッセル(本社)大阪市東成区。田口順一社長)では新たに「セーバ
ーソーブレード」シリーズの開発をおこない、5月より発売を開始した。
アニマルをモチーフに、速・剛・狭など用途別のブレードを3種類ライ
ナップ。今回の新シリーズは、昨年2月に資本業務提携を結んだ切断工
具で動力工用ソーブレードの専門メーカー「福知山興業(株)」(京都市福知山
市)との共同で、約一年を掛けて製造設備更新や技術強化を進めて製品化
されたものとなる。

今回の商品開発では新
たな試みとして、ベッセル
グループ企業から選抜
チームを結成し「行為の
デザイン」で有名なハー
ズ実験デザイン研究所代
表である村田智明氏によ
るワークショップをおこ
ない、アニマルモチーフ

のコンセプトが誕生し
た。従来のソーブレード
ユーザの声には①選定
の仕方が分からない②塗
装がはがれて仕様が別が
困難③工具箱で混ざると
探しにくい④ブレードが
セーバーソーに取り付け
にくいなどがあった。

これらの課題解決を目
指したのが新製品の「セ
ーバーソーブレード」シ
リーズ。主な特長は▽製
品の性能・特長を動物で
表現。刃の形やイラスト
を用いて視覚的に判別可
能。▽用途が分かるアイ
コンと製品情報にアクセ

スでできるQRコードを、
消えにくいブレードの根
元に印字。▽刃が動力工
具に差し込みやすいよう
ホルダー装着時に引掛
かりがない角R形状の差
し込み部と、挿入の際に
ガイドとなる5度の傾き
ラインもプリント。▽コ
バルトハイス鋼とパネ鋼
のハイメタルを使用し、
刃の強度と柔軟性を備え
優れた耐久性を実現。
また用途・切断対象素
材に応じて、ブレードは
3種類を用意。▽チータ
ーブレード(各種金属の
切断用。水道管の改修、



デッキプレートの切断、
電線管の撤去など)。
ライノブレード(各種解
体作業、ALC、塩ビ
管、木材の切断など)。
▽リザードブレード(狭
い箇所解体作業に、金
属、塩ビ管、木材の切断
など)。
商品の詳細な同社ウェ
ブサイト(https:
//vessel.c
o.jp)を参照。



今回発売のセーバーソー
ブレード

チーターブレード[金属用]
セーバーソーブレード・シリーズ

VESSEL
こたえるかなえる

鉄/SUS材 型鋼 鉄/SUS材

営業から経営面まで幅
広く業務に携わり、セー
ルスマネージャー、執行
役員を経て、この
たび代表取締役社長に就
任した。就任直後の今年
1月には、語学能力など
業務に必要なスキル
習得などにも教育制度を
設けることで、幅広い人
材を受け入れられる体制
を整えた。
生年月日1975年
3月4日。趣味中国語
のレッスン、ゴルフ、旅
行。座右の銘「自由闊
達」。大きな視点かつ、
正直な気持ちで他者と接